

談話会通信 No. 55

東京蜘蛛談話会

梅の夏の熟する頃とりました。梅雨の季節の到来です。ご自身の健康に、くらくらも留意されて、おにぎりに、フエの研究・観察に励んで下さい。

✎ 新入会員の方です。よろしく。

- ・ 猪万清人 〒473 豊田市花岡町井田74
- ・ 小半光弘 〒180 武蔵野市吉祥寺本町2-40-21

✎ 住所変更の方です

- ・ 田中徳積 〒584 富田林市藤沢台7丁目6番27号

夏の採集・観察会のお知らせ
日時：7月6日(日) 午前10時集合
場所：山梨県扇山(国鉄鳥沢駅にご集合下さい)
新宿より1時間30分です。
お問い合わせ・連絡は、松浦(03-392-9962)まで。

夏合宿について

期日：7月26日(土)～7月28日(月)

場所：山梨県丹波山村保之瀬

宿泊先：しらかば荘 Tel. 04288～8-0841

参加を希望される方は、早稲ヶ谷電話と7月5日までに事務局、松浦まで、連絡下さい。

合宿場所について詳細をお知りになりたい方は、

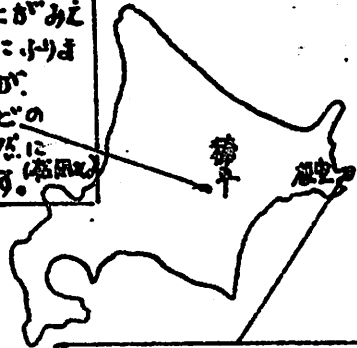
村上房枝(045-941-3121)まで、連絡して下さい。

*予定といたしましては、青梅線、奥多摩駅、11:30頃に、

集合を予定しております。

よせりコーナー

椿牛も、ようやく雪がとけ土がぬかるようになってきました。子供に小りまわされることの多い毎日ですが、釋育所の遊戯や散歩などの楽しめた時間とも、自然に目を向けたらと思っております。(高田)



(岩手県 盛岡市在住の片岡さん)
正月に、ニューカレドニアに行きました。今、中津在住当時の児童の習字があり、時々見せて下さる。お正月の飾りにかこまれ、たのしんでいます。

昨年4月～8月にかけて、メキシコ→アラスカ 縦断探鳥旅行をしてきました。月下のワグにおかれています。1ヶ月も砂漠を歩いたのに、クランチュには、小池がはいりました。そのおわり、ブラフウドには、あることができました。森林地帯のキャンプ場のトイレには普通のようど、「踏かける前にフタをみりて確認を」といわれました。(高田)

別荘、親会のご盛会を祈り、お天候に日、雪しおおめにむすことと存じます。どうぞよろしく。おねがいします。(八木)

4月から有田進修校に転勤になりました。毎日、校務研究に打ちこま。学生時代にむすおね、地産・地産の毎日です。しかし、何かしきをおつて、シビグモ飼育とつながっています。(岩手)

元気でまぶります。みまはによろしく。おねがいします。(加藤)

動物園(稚子)がかりました。少しづつ、ヒマがまてくての、ぬをみる時間があればいいなあ...と思っております。(根室)

おねがいが、大存じます。盛会を祈ります。(千原)



今日は、ズグモハシグモの生活状態をまよめたいとおもっています。(中平)

若山牧場の生産地にまて1月にまりました。また、ワグツキグモの稚牛地も30名の所ど生活しています。何とか生活にむかえてまましたので、身屋をのびし、目をみはり、つまらしたいとおもっています。伊会、親会と祝賀。(石狩)

1986年3月9日、M10 オオヒグモが今年、はじめて不規則網をまりました。1日中の最高気温は、17.3℃でした。毎日、このクモをみるのが、たのしです。野外(石狩)を1日、424X(石狩)しています。(岩手)

・お便りコーナー (1月号の付録より)

・お元氣ですが、今月は、陸協会の方にも、よく参加したいと考えております。小は5mm程度のクモでも、意外と長生きするもの。例のユカタヤマシログモは、3回めの越冬をおえ、2年8ヶ月めをむかえようとしています。ヤラウエの子も、かなり健在です。ウスレの子も、下記冬をこえました。

(世田谷の粒工)

・毎度、出席はするものの、なかなか、ノモ摩積がすすみませんが、よろしくおねがいします。

(世田谷の小沢工)

・アズマヤシダグモを40頭以上採集して、飼育していますが、エラの確保と観察におわづら、忙しい毎日です。又、アサギと異虫とクモのチカモをコツりました。

(世田谷の植原工)

・別公では、ジゴモの道産にフカ、発表したいとおもっております。

(日野市の菅嶋工)

・先月のため、又も残念ですが、出席できませし。(4月日にも、本居島へいも、トゴシグモ(*Cyclosa multinensis*)にかこまれて、11-11とニ晩おりました。雲ど、だんだん。) 今月も、どうぞ、よろしくおねがいいたします。(日野市の高野工)

・ひとしうに、お休むべくも、ときて、和もよい日どの新採にかかやいて、おぼろが、生物のもとも活動する時季、今月は、と、くもたらと、近づきたいとおもっております。

(伊東市の山本工)

・文庫活動という、元とは、あまり持の山! 所ど、おしなことから、元の語を和訳して、ほいしました。人にむかえを教えることこのは、おぼろが、感じております。お母さん、子供たちとのおど、勉強より、共に死ぬ、自然に接する、志にむかうと考えております。

(羽村町の熊田徳志工)

・予定していた、フィールドの仕事が、流れて、まわりましたので、ポツカリ穴があいたような、空の時間ができて、まわりました。おぼろ、今月は、採集会等にも、参加したいもの、考えております。どうぞ、よろしく。

(多摩市の吉谷工)

・別公では、「こしき(hub)」について、発表しますので、よろしくおねがいします。

(国分寺市の新海州工)

・4月に転勤し、新しい学校、新しい生徒、新しい生徒(6年生)にかこまれ、ジャンジャンの毎日をおこなっております。

(杉並の梅林工)

★ 千葉の浅間工

・残念ですが、当月、都合がわるくて、出席いたしません。

★ 群馬の杯工

・世元の調査がありまして、今月は、欠礼させていただきます。盛会とお祈り申し上げます。

・お便りコーナー (神奈川の方より)

・入会や小やど、どの程度まで、入話についていけるか疑問ですが、よく了解し致します。ワラグモに興味があります。(横浜の田副さん)

・このところ公私にわたって、忙しうた状態ですが、いろいろ行事にも参加できなく残念におもっています。(横浜の村田さん)

・家庭の事情により、クエの観望は、一時停止しております。誠に残念ですが、我慢のすゝめです。(横浜の佐藤さん)

・先日分家のおりのクエを見えし、はとんど私の部屋にひらいているクエは、かつどすか、むかむか楽しいおどろきです。(横浜の井上さん)

・今日は、我が最愛のネコ(ストリ)とともに、おごりごとがどきどきです。今日は、おまが主催しているゲーテ植物学会の総会とぶつがてはまりました。ス席とおかびします。皆様へお礼。(大和市の青藤さん)

・5月の中・下旬は、ニつの学芸大会と2つの野外調査をががし、何とか有給をつらりと、月程の工面をしてみましたが、やっぱりダメでした。皆様によろしく。(横浜の近藤さん)

・お見えがては、こまめに、寺社林の拝堂公とあめようとお話ししています。

川田原城内高夜
玉村研太郎

・御無沙汰いたしております。長男(乙未10ヵ月)は、クエの足鑑をかきながら、大呼まです。この夏には、一箱に採集、観察にこころと思っております。(横浜の山川さん)

・西長島と石垣島でとってきたクエの整理と、飼っているクエの餌の餌とりをしていっている所です。電話boxの中でエサにする虫をとります。あまりおもしろいことではありません。(川崎の五味さん)

・この春、西長島で採集したクエとビクエラーごのどいごいごいおどろきです。(横浜の谷川さん)

・連絡がふたふた、申し訳ありません。また、クエが活発に活動をはじめ、楽しい季節になりました。(二宮町の稲葉さん)

・街五の島田さんより。

・申し訳ありませんが、お席をきまされ。皆様によろしく。

おかげさまで、おたより。

・お便りお持ちいたしてよろしく。

よろしくお願ひ申しあげます。

(通信採集さん)

東京クモ談話会
昭和60年度会計報告

収入の部 ¥ 820.758

前年度繰越金 ¥ 464.558

会 費 ¥ 209.400

内 訳 (前納) 63.800

(後納) 145.600

寄 付 ¥ 101.400

別 刷 代 ¥ 42.400

バックナンバー売上げ ¥ 3.000

支出の部 ¥ 325.430

刊行物作成費 ¥ 205.000

通 信 費 ¥ 97.880

運 営 費 ¥ 6.670

備 品 費 ¥ 1.500

消 耗 品 費 ¥ 13.780

雑 費 ¥ 600

差引残高 ¥ 495.328

昭和61年5月11日

会 計

井上 麻枝子 (印)
小池 牧子 (印)

会計監査

小沢 奥樹 (印)
林 俊夫 (印)

上記の通り相違ありません

都合により、61年度予算案は、次号の通信で報告いたします。

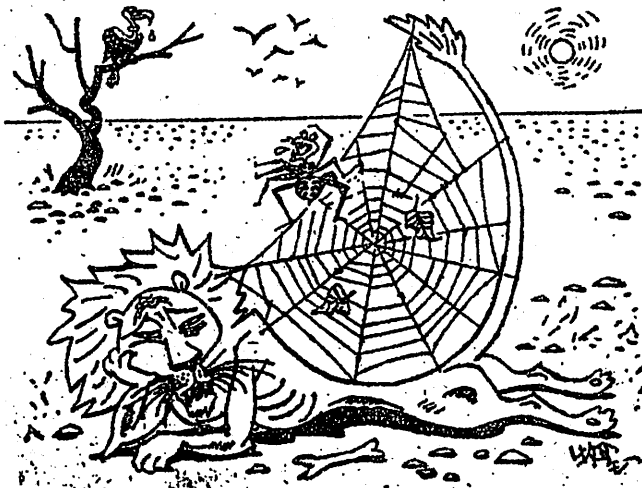
会費納入状況

昭和61年5月17日現在

- ・昭和60年度 .. 片岡佐太郎, 高田勝, 沢川喜朗,
福本伸男, 鈴木勝浩 (敬称略)
- ・昭和61年度 .. 川中稔積, 吉田茂, 吉谷昭憲, 加村隆英,
中平清, 新海明, 五味秀人, 依久間良三,
谷川明男, 菅嶋泉, 具死憲治, 赤口常一,
加藤輝代子, 石野辰夫, 福本伸男,
福山昭二, 鈴木勝浩, 吉倉真, 八沼健夫,
近藤昭夫 (敬称略)
- ・昭和62年度 .. 佐藤幸子 (敬称略)
- ・御寄付 .. 石野辰夫様 200円

会費についてのお問い合わせは、社上(045-941-3121)か、小池(044-588-5422)まで

食べる



(牧野圭一)

左の記事は

梅杯ミソリ

いたじまにて。

(ヨミウリ新聞)

SCIENCE NEWS

Quark 1985 January

P. 8

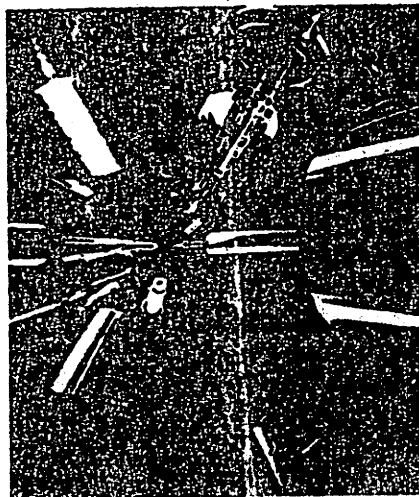
レーザー核融合装置にクモの糸が張る理由!

右の写真は、人間の髪の毛の太さより小さな直径の微小球。これを左の写真のレーザー核融合実験装置に入れ、120億キロワットの24本のレーザー光線を当てるのだ。

しかしここに問題が起きた。この小さなガラス玉を、どうやって装置の中に吊すかだった。

アメリカ、ニューヨーク州のロチェスター大学の研究員たちは、その答えを裏庭で見つけた。というのも最適な材料はクモの糸だったからである。写真にも写っている絹のようなクモの糸

は、ガラスの糸より細く、強く、しかも粘着性がある。

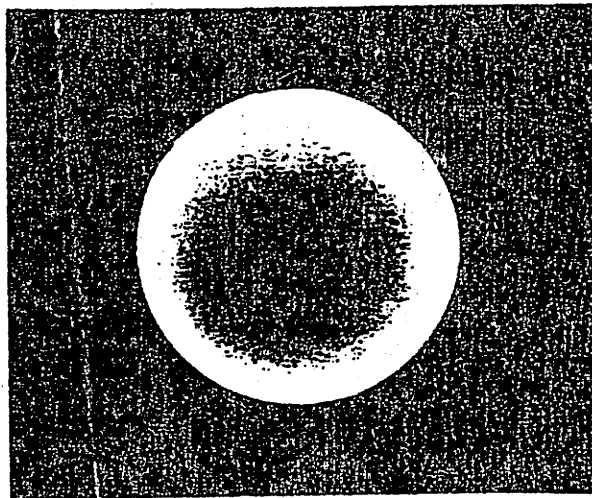


Don McDill/Don Win Studios

このガラス玉には重水素や三重水素が入っており、9000万度のレーザービームで熱せられ、水素原子のいくつかが融合して

ヘリウムができて、エネルギーを放出する。

クモの糸がそれを支えているわけて、大した働きだ。



Luke Whisaker/University of Rochester/the Laser Fusion Feasibility Project at Lab. for Laser Energetics

梅杯エシよりいただきました。

・ 本年度の例会・我々は、5月11日に、入橋氏会館でおこなわれました。18名の公費の方々が参加されました。講演内容は、池田氏の「稲葉氏が「ウツグモの未記録種について」、新海明氏が「こしきについて」、磯林氏が「形並巨内のクモについて」、谷川氏が「阪長島ごめとそのparent」、青藤氏が「コウソウグモの記録について」、そして、最後に新海栄一氏が「分類体系について」発表されました。また、我々の席上、国見エシに代わって熊田氏が運営委員として承認されました。国見氏、長いお忙しご苦労様でした。

・ 東亜蜘蛛学会創立50周年記念入会（東亜蜘蛛学会第18回大会）が、東京都立大学で開催されます。

8月23日(土)～24日(月)に、東京都立大学学館で、東亜蜘蛛学会の記念大会がはじまります。学会員以外の方も参加することができます。入会参加費は、4000円です。くわしくは、新海栄一氏まで、問い合わせ下さい。

〒185 国分寺市 本多1-6-6
シカイ写真館内
tel. 0423-21-0289
0423-25-1710

事務局より

・ 今年度から、kishidaiaの編集が、嶋川氏より、熊田氏に変わりました。会誌の厚稿は、熊田氏のほうに、おまくりいただけます。お願いいたします。熊田氏は、御多忙にも関わらず、運営委員としてくりりて下さいました。よろしくお願いたします。

・ 公費の納入は、お任せに、おまくりいたします。口座番号は、
横浜 0-1460 です。

・ kishidaiaの厚稿、通信の厚稿とおまくりいただけます。お願いいたします。

[事務局] 松浦祐司 03-392-9962
〒167 杉並区 荻窪 3-7-6-207

[kishidaia 編集]
熊田寛一 0425-55-4462
〒190-01 西多摩郡 羽村町
羽加美 3-6-31

[通信 編集]
鈴木勝浩 0489-91-2984
〒343-01 北葛飾郡 柏沢町
柏沢 3385

探訪会通信 No. 55
1988年6月8日発行
東亜蜘蛛学会